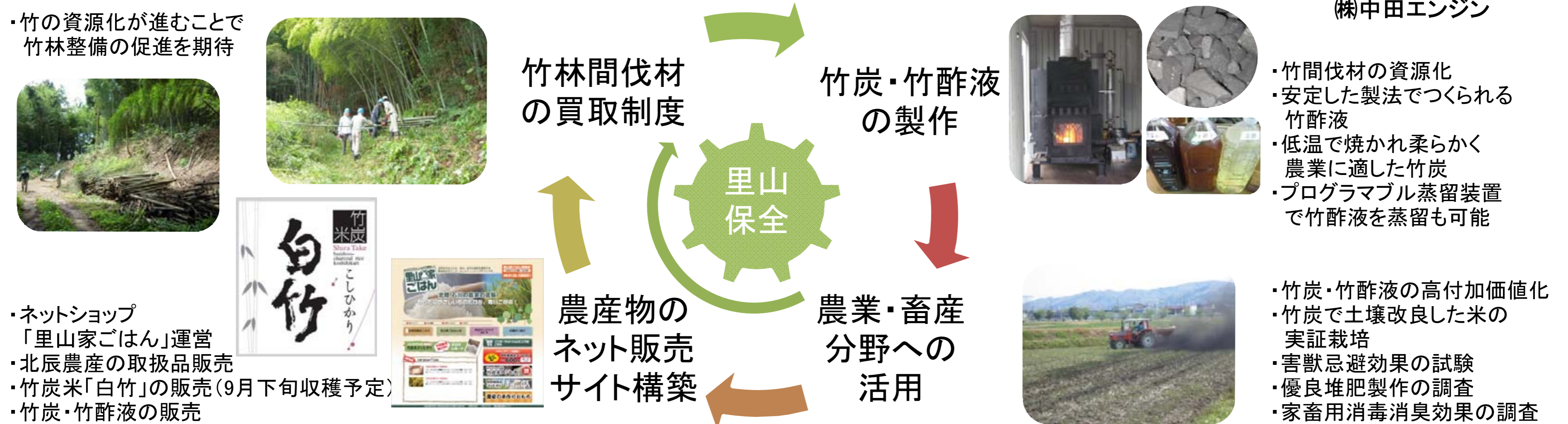


竹間伐材の資源化と活用推進

株式会社 中田エンジン

竹炭・竹酢液の製作を通じた、地元米のブランド化とネット販売、および竹林間伐材の買取



要素	内容	協力企業・団体
・竹炭・竹酢液の製作	<p>背景：明和工業殿のバイオマス炭化装置を使用し地元産の竹間伐材を使った竹酢液と竹炭を製作。平成22年度いしかわ産業化資源活用推進ファンド事業に採択されています。</p> <p>特徴：炉内温度を管理することで、安定した竹酢液と竹炭の品質管理が可能。また2時間程度で1サイクルが完了するため、品質管理に適しています。蒸留設備もあります。</p>	<p>中田エンジン(竹炭・竹酢液製作) カラス(コンサルタント) 明和工業(プラントメーカー)</p>
・竹林間伐材の買取制度	<p>背景：里山保全につながる竹林整備が促進するよう、竹林間伐材を買い取る制度を各団体と進めています。弊社設備状況では年間24t程度の竹の買取を進める予定。</p> <p>特徴：竹林整備を進めているNPO法人や団体との連携を深め、相互の活動を販売サイト等で紹介し、里山保全活動を広報する環境づくりを目標とします。</p>	<p>中田エンジン(竹間伐材買取) カラス(コンサルタント) NPO くくのち(竹間伐材供給) NPO 森と生きる 田中工務店(竹間伐材供給)</p>
・農業、畜産分野への活用	<p>背景：北辰農産の稲作の土壌改良材に竹炭と竹酢液を活用しました。今年5月の作付90aに利用し今秋に5トンの竹炭米の収穫を予定しています。</p> <p>特徴：地元農家との連携で竹炭・竹酢液を使った農法を研究し、白山麓の水と地元竹炭でできた特徴のあるコメをブランド化することを目標としています。</p>	<p>中田エンジン(竹炭・竹酢液支給) 北辰農産(竹炭米栽培) 石川県立大学(評価試験)</p>
・農産物のネット販売サイト構築	<p>背景：現状、JAと店頭販売が主体であった販売経路から脱却し、売上増を目指しながら地元里山保全にも注力します。竹炭米がブランド化し収穫量を増やすことで竹間伐材の需要が高まることを期待しています。</p> <p>特徴：北辰農産で栽培した米をネット上で販売し、「北陸 石川の農家の直販」を掲げネットショップを構築します。地元農家の生産物のブランド化と里山保全に関わる竹炭米の広報の場として活用。</p>	<p>中田エンジン(サイト製作・運営) 北辰農産(商品供給・運営) FEB(サイトデザイン・運営) 東山たけたけ工房組合(商品供給)</p>

(株)中田エンジン

審査委員コメント

竹間伐材の資源化、活用促進だけでなく、NPOと連携し、休耕田の再利用等様々な里山保全を行っていることが高く評価できる。今後、取り組みの拡大と他地域への適用が期待される。